

こぶたさんと  
にきびがし





かれはことぶき紳士  
シルクハットとステッキを持って  
今日も空をすいすいとさんぽする



ことぶき紳士は  
名前のおり紳士だった  
空中さんぽのときに出会うことりたちにも  
きちんとぼうしをとってあいさつした

「こんにちは」



「チュンチュン  
チチチ……」



ことぶき紳士がとべるひみつは  
じまんのステッキにあった

ステッキがあれば  
あおむきになって  
とぶこともできた



こんなふう  
きどって  
すいすいあるくこともできる



「きょうは  
さんぽびよりだ」

「おや、なにかおちている」

ことぶき紳士は道のまんなかになにかおちているのを見つけた



ことぶき紳士は  
めずらしいものが大好きだった  
すたとんじめんにおりて  
それがなんなのかを  
たしかめることにした





「これはなんだろう」

それはいままで  
ことぶき紳士がいちども  
みたこともないものだった

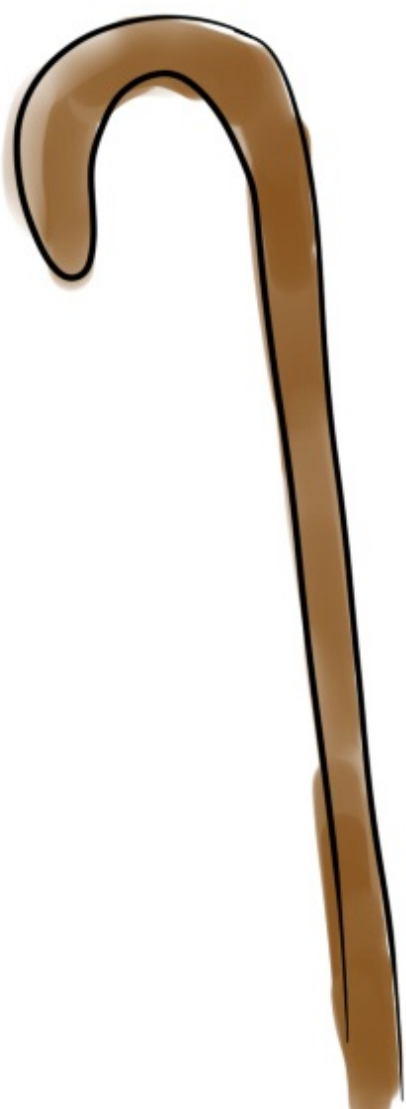


でもみたことのないものでも  
だいじょうぶだった

じまんのステッキは  
コンコンとたたくと  
なんでもおしえて  
くれるのだった



たぐいものたぐい



「たべもの、これが」

手じのきんた  
食べるんやよ



ヒョイツ



ぱくん





「デリシャス！」

んんんんー！

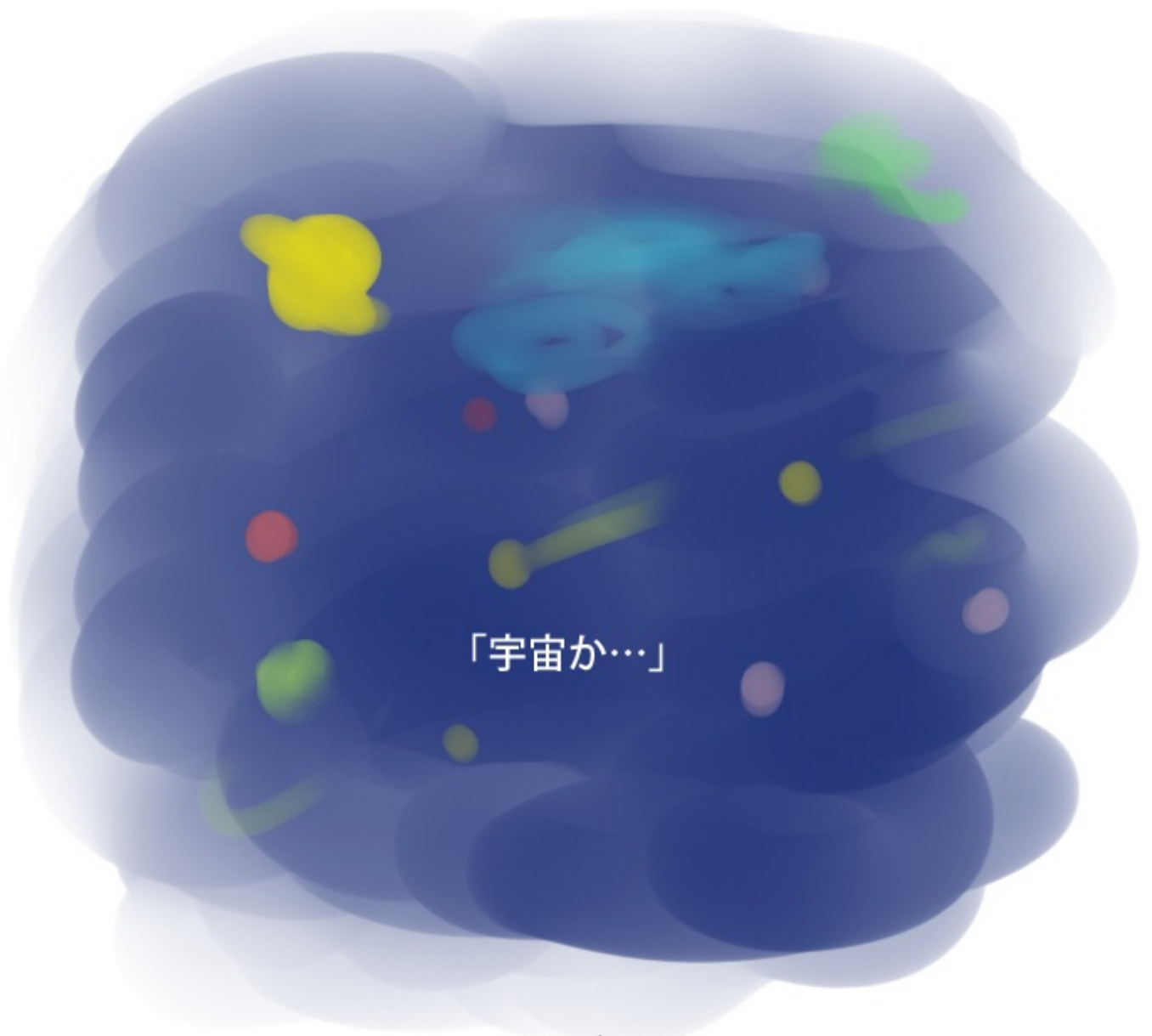


「これはいったい  
どこの国の食べものだろう」

地球という星の  
日本という国さ



なんとそれは  
宇宙の食べものだった



「宇宙か…」



い  
ま  
は  
し  
ん  
じ  
や

ステッキは  
けっこうかたんに  
そういうことを  
言うのだった





実はステッキの  
言うとおりであった  
ことぶき紳士が  
「えいっ」と  
シルクハットをなげると  
みるみる大きくなって…

りっぱなうちゅうせんになった  
ことぶき紳士は  
そのすてきな  
自家用うちゅうせんに乗り込んだ

「さあ出発！」



ことぶき紳士のかげごえとともに  
うちゅうせんは  
ふわりとうかんだ

空では  
さっきのことりたちにであった



「ごきげんよう  
ことりさん」



「チュンチュン  
チチチ…」

おしまい

\*あとかき\*

ここまで読んでいただいて、本当にありがとうございました。

至らぬところもあったとは思いますが楽しんでいただけたら幸いです。

実は寿紳士(ことぶきしんし)はこのあと地球にたどりついてすし屋さんで住み込み見習いになります。

この後のお話はサイトのほうでやってたりします... よろしかったらどうぞ...

2010/08/13 Yukina.F

